

ご挨拶



名誉顧問
在上海日本国総領事館
総領事・大使

赤松 秀一

皆様、はじめまして。10月10日に、新たに在上海日本国総領事・大使として着任いたしました赤松秀一と申します。私が1989年に外務省に入省した際の志望理由の一つに、中国との外交に従事したいとの思いがありました。幸い、入省後は、中国関連の様々な仕事を手がけてきました。外務本省や北京の大使館での勤務はもとより、米国・ニューヨーク、インドネシア・ジャカルタ、英国・ロンドンの各在外公館でも、国際社会で存在感を増す中国を様々な角度で観察してきました。特に最近の10年余りは、経済外交の視点から中国と向き合い、直近では、G7やG20のサブシェルパとして首脳コミュニケの交渉等に従事してきました。そしてこの度、在上海日本国総領事・大使の職に任じられ、身が引き締まる思いであると同時に、この御縁を望外の幸いと感じています。

当館所管の1市4省は、真に魅力に富んだ地域です。歴史的な名所旧跡が多数存在し、両国の優れた文学作品にも多数登場する憧れの地域であるだけでなく、経済的な

重要性も増大しています。このため、現在、2万以上の日系企業拠点が所在し、5万人以上の在留邦人の皆様が暮らしています。中国側でも世界最多の日本語学習者を擁するなど対日関心は高く、まさに日本の対外経済活動の最前線であり、文化面を含む日中交流の主要舞台です。

特に、来年は日中国交正常化50周年という節目の年を迎えます。日本と中国とは永遠の隣国であり、歴史的、地理的、文化的、経済的等あらゆる面で深い繋がりを有しています。50周年に際し、この絆を再確認するとともに、未来永劫続く良好な関係に思いを馳せたいと考えます。いかなる状況下でも、地域間、民間、青少年交流を進めることは、お互いを正しく理解・評価するために必要不可欠です。両国民の交流がより太く、不可逆的になるよう、全力を尽くす覚悟です。

いつでも気軽に御意見や御要望をお寄せ頂ける総領事館でありたいと考えておりますので、引き続きの御支援をお願いいたします。